

令和7年度 北海道滝川高等学校全日制 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

わかる喜び、学ぶ楽しさを持たせる授業、他者を思いやり助け合える集団づくりを目指す生徒指導、遅しく健やかな健康安全指導が三位一体となった教育活動の推進  
 (1) 主体的に学ぶ意欲と態度を育て、生徒一人ひとりを尊重し多様な学習能力を育成する  
 (2) 規範意識を醸成し基本的生活習慣の確立を図り、豊かな人間性・社会性を育成する  
 (3) 人生観や職業観、及び自己実現を図る能力の育成に資するキャリア教育を推進する  
 (4) 自他の生命を尊重し、自発的に健康・安全や環境美化に努める能力を育成する

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
総務	・情報発信について、ホームページの更新やSNS(note)の更新の対応が随時できなかった。担当者の割振り等の改善が必要である。	・情報発信（ホームページやSNS）の運用において、担当者や更新規定を決めて対応していくことが望ましい。
改善方策	・担任以外の担当者を配置するとともに、行事の写真記録を全教員体制で行う。 ・個人情報の扱いに留意して、写真のデータ保存に関して一元的に行う。	
学習指導	・ICTを活用した個別最適な学びや自動採点システムの導入により、働き方改革に基づく授業改善を行うことができた。	・総合探究における地域と連携した探究活動について、年々、テーマ設定や分析の質が高まっている。
改善方策	・ICTの活用について、校内研修を一層充実させ、特に授業内で生成AIを適切に活用するための準備や取扱方法を徹底する必要がある。	
生徒指導	・配慮が必要となる生徒に対して、学校全体で共通認識をもって取り組む必要がある。 ・自転車マナー等、命を守るための交通安全について、引き続き徹底する必要がある。	・様々な生徒が入学してくるので、生徒一人一人に向き合った指導をお願いしたい。
改善方策	・個別の指導計画を充実させ、年間をとおして、配慮が必要となる生徒への支援をしていく必要がある。 ・警察等の外部機関と連携し、交通マナーや犯罪トラブルに巻き込まれない意識向上に向けた取組を充実させる。	
進路指導	・昨年度に引き続き、国公立大学への進学者が100名を超え、多くの生徒の進路実現が達成できた。 ・生徒の自主的な学習をすすめ、講習の在り方等について検討する必要がある。	・引き続き生徒一人一人に対しての丁寧なキャリア教育の充実を続けてほしい。
改善方策	・学習することの意義や自分自身が社会でどう活躍できるかを考えさせるようなキャリア教育の充実を一層図る必要がある。	
公表方法	・学校だよりや学校ホームページ掲載するとともに、学校評議員会、PTA役員会等で説明する。	